

## 震度速報 より早く

地震が発生してから、揺れの大きい地域の震度を知らせる「震度速報」を発表するまでにかかる時間を、現在の約2分から1分51秒に短縮する方針を、気象庁が12日、明らかにした。5月中旬をめどに運用を始める。

### 2分を1分51秒半に

震度速報は、気象庁や自治体などが全国約4000か所に設置した震度計の観測値を基に、震度3以上の揺れについて、各地の詳細な震度に先立って発表する。

現システムでも1分程度での発表は可能だが、それ以降に最大震度を記録する場合もあるため、発生から2分を待つて発表することにしてきた。しかし、大きな地震ほど迅速な防災対応が必要なことから、かりに第一報が最大の震度とならなくても、速報を素早く出す利点のほうが大きいと判断した。